

心に思いやりの花を咲かそう

「人権の花」贈呈式

Tuesday
6/7

子どもたちが協力し合って花を育てることで、相手の立場を考えたり、花や周りの人への思いやりの心を育てていくことを目指す、「人権の花」贈呈式。

今年、西溪小中学校にマリーゴールド、ニチニチソウ、トレニアなどの花の苗が贈呈されました。

佐賀人権擁護委員協議会の松隈俊久会長は、「人権とは一人ひとりが幸せに生きるための権利のこと。花を育てることで、思いやりのある人になり、笑顔の花をたくさん咲かせてください」とあいさつしました。

生徒の代表が「きれいな思いやりの花を咲かせます」「大切に育て、人権を大切にできる西溪校を目指します」とお礼の言葉を述べました。

花は大事に育てられ、10月の秋祭りで会場を飾る予定です。



◀ スペシャルゲストの人権イメージキャラクター「人KENまる君」と「人KENあゆみちゃん」の登場に生徒たちは大喜び



Wednesday
6/8

Sunday
6/12

自分らしく表現を楽しむ 第54回多久美協展

◀ 作品を熱心に鑑賞する来場者
多久市美術協会による「多久美協展」が中央公民館で開催されました。毎年、春と秋（文化祭共催）の年2回行われており、今回は会員約30人が絵画、写真、工芸、書など約100点を出品。

どれも力作揃いで、レベルが高いと評判の多久美協展。

プロアマ問わず、高校生から92歳まで、幅広い年代の芸術を愛するみなさんが仕事や学業に励みながら、展示会を目標に作品を制作してきました。

来場者は「高校生の写真が素晴らしかった。来年は私も挑戦してみたい」と感想を話していました。

会場には約200人が訪れ、じっくりと作品を鑑賞していました。



▶ 多久高校生美術部の作品

16人が堂々と発表しました！

多久市青少年育成市民大会・多久市少年の主張発表会

Saturday
6/18

多久市青少年育成市民大会・少年の主張発表会が多久市青少年育成市民会議・多久ライオンズクラブ主催で行われました。

多久市青少年育成市民大会では、東多久町の柴田昇さん、西多久町の市丸悦子さんが長年の活動を通じて青少年育成に貢献されたとして、表彰されました。

少年の主張発表会では、小学生10人、中学生6人が、将来の夢、家族や友だち、社会問題などへの自分の意見を堂々と発表し、中央校6年中尾幸太さん、中央校6年渡辺涼さん、西溪校9年鶴奈那恵さん、東部校9年山田珠莉さんが優秀賞を受賞しました。

審査員講評では、田原優子教育長が「これから子どもたちは世界で活躍をしていきます。その中で重要なのは、考えを言葉にして相手に伝えることです。自信をもって飛び出して行ってください。」と講評しました。



◀ 発表が終わり、集合写真を撮る様子



◀ 青少年育成市民大会の様子